



※幼少の頃は、みんな夢や希望に満ち溢れていました。  
 現在は青年部の活動に励んでいます。  
 18・19年度役員の子どもの幼少頃の写真です。  
 皆さん！どの子がどの方かわかりますか？  
 答えは18ページに！お楽しみに～！

# 福居

# vol.107



福井商工会議所青年部会報

発行日 / 平成19年3月17日      発行者 / 宇佐美嘉一      編集者 / 岡山宇太郎  
 発行所 / 福井商工会議所青年部ブランド発信委員会      福井市西木田2-8-1      TEL: 0776-33-8253      FAX: 0776-36-8588

<http://www.fcci.or.jp/fyeg/>





北川 慶法

卒業の挨拶

「地域を支える 気概もつ」「夢追う気持ちは忘れない」「歴史の舵はいつの世も、熟ある者が取って来た」は皆さんご存知「伸びゆく大地」の一節です。今、卒業にあたり思い出すのはこのフレーズです。何をやるにもまずビジョン、目標、計画、行動が必要ですね。

わかっているようでわかっていない事でもあると思います。私はそうでした。頭でわかっているつもりでしたから、これからのフレーズを肝に銘じ仕事を人生を歩んで生きたいと考えています。在籍中の皆様からのご指導・鞭撻に対し厚く御礼申し上げます。青年部会員皆様のご商売の繁栄とご健勝を祈念致しまして卒業の挨拶とさせていただきます。有難うございました。



木村 幸生

宙船ありがとうございました

森永前会長の後押しと高原前会長のお誘いにふらっと出向いたオープン例会に出席後、案の定1ヵ月後には会員手帳を吉岡元会長から受け取っていた。石の上にも3年、会のなかにも1年と考えまた何事も語るには全てを経験してからと、委員会、例会、事業に重い腰をあげて参加した。時はまさしくYOSAKOIイッチョライの高度成長時代。私自信は「順化北陸とんねるず」のトップ(一部ではTALL)ダンサーとして福井の人たちを魅了していた時であった。イッチョラ



佐竹 正博

YEG卒業に当たって

私が、YEGに入会したのは平成7年春だった。当時松村さん(大丸商店)が会長で、その時の委員会にオブザーバー参加したのがYEG活動初体験だった。それから12年もの長きに亘ってYEGでお世話になった事になり千支も一回りした訳である。12年も在籍したので、一生懸命活動した時期・幽霊会員だった時期両方がある(幽霊会員時期が圧倒的に長い)。その中でも平成13年度メディア委員長をやらせて頂いた時が一番記憶に残っている。

FMaitiマガジン・CD-R会報・墨書による手書き会報・YOSAKOIイッチョライ独自ドメイン取得など、自分の個性を出しやりたい放題やった。一生懸命な人には何でもやらせてもらえるYEG、でも幽霊会員となっても優しく見守ってくれるYEG。この辺の懐の深いのがYEGの良いところであり、YEGに入ってから知り得たメンバー全員及び親会の会議所に感謝したい。

最後に、12年間YEGにお世話になりました。今後とも益々YEGが発展することを祈っています。



高原 裕一

私の宝物

平成8年に入会させて頂いて以来、会員の皆様をはじめ会議所及び事務局の方々、さらには関係各位のお力添えの元、本年何とか卒業させて頂くことが出来たこと、心から感謝申し上げます。これまで幾つかの他団体との協働事業に携わらせて頂くことができたが、その都度当会の組織的ポテンシャルを感じずにはおれませんでした。地域の活性化というのは憶り多いかも知れませんが、関わり方次第でそのパワーを感じ、しかも楽しむことができる組織だと思います。まずはそれを認識することが大事だと思います。これまで僕自身何も出来ませんでした。素晴らしくも誇れる仲間と出会えたこと。これこそが、私の宝物だと思います。有難うございました。



田谷 仁一

卒業するのに21年かかった

昭和61年入会、連続役員記録保持者(典型的NOと言えない日本人)桜、ネットワークなど特別委員会室長(おだてに弱い、メンバーは松村さんと二人きり)近プロ副実行委員長を受けた御礼に三倍返しの下克上)逆下克上で副会長に任命される(因果応報)青年部では、熱く語り合い、とりあえず動くという精神をたたきこまれ、会議所お引越し記念ハートランドであかしもん散歩・芝居を取り入れた歴史の伝導士、後に時代行列の幕末明治隊にまで成長?(劇団にスカ



中村 佳一

(?) 年入会 お菓子のナカムラ(入会年度も忘れました)

青年部に入ってから、20数年、不真面目で、御迷惑おかけしっぱなしでございました。

フェニックスプラザの柿落としと意気込んだ全国大会の年に入ってから、訳も分からず走り回り、第二事業委員会に配属され、何をするかと思えば、なんでもお神輿コンクールで、商工会議所の神輿を担がされ、以降、国際化委員会、英会話教室に出て、出席率向上委員会、例会の内容に悩まされ等々、普通では考えられないことを色々させていたでございました。足羽川でのハートランドで、フリマの担当をした際、台風の直撃を受け、参加者、大野の朝市のおばちゃんに迷惑をかけた以降、仕事の都合で、ほとんど参加できなくなり、皆さんに御迷惑おかけしっぱなしでしたが、かけがえの無い経験と、かけがえの無い人とのつながりを頂いた、本当にかげがえの無い会だったと、今更ながら感謝いたします。

本当に、ありがとうございました。



蓮花 慶子

ひりひり

昭和から平成に変わった変動の年にYEGに入会して19年あまり。(実は、その前の年から活動していた)はつきり言って、かなり大切な時代(オンナ盛り?)をYEGに捧げた!とは言わないまでも、このどうしようもない人間を創っていただいた一端の責任はあるかも。この間、様々な委員会に所属はしてきたけれど、大きく捉えると、自己研鑽型ではなく、地域活性化事業やら、市民参加型イベントやら、外部挑発型の活動に関わってきたように思う。なぜなら、仕事とは違う領域や方法で地域と関わること(パイプ役になること)が必要だとどこかで思っていたし、それが必ず個に帰ってくると思っていたから。それは、多分これからも変わらない。

YEGは、常に甘くてほろにがい地域の未来です。I believe!!



吉岡 正修

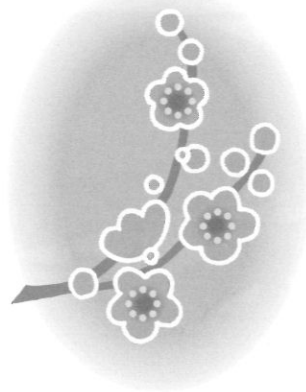
YEG卒業を迎えて

平成12年のある屋下がり、会長をしていた私の携帯に、当時全国へ出向していた敦賀の松葉さんから電話。全国会長研修会を開催するチャンスがあるよ。やる気なら、私が近畿をとりまわるとしてきてきたらわ。内容は把握できなかったが、どうやら全国のYEG会長を集めての研修会らしい。福井YEGの、行動力、組織力には自信を持っていたので、やるよと即答。3年後、



川崎 茂治

大変なことになるとは思わずに。青年部に平成6年に入会。いよいよ卒業。冒頭が、13年間で一番大きな仕事で、大きな判断だったと思います。平成15年度に無事成しとげることができました。全国会長研修会を含め、すべて共に歩んできた仲間たちのおかげですばらしい時を過ごすことができました。YOSAKOI、時代行列、市民会議、全国大会、ブロック大会、例会、キャンプ、ハートランド、桜、県連、全国出向、PR行脚などなど。ひとつのキーワードにエピソードは数えきれません。登場人物もさまざまです。卒業にあたり、お世話になった方々に深く感謝するとともに、福井YEGがますます発展することを祈念いたしました。最後の投稿とさせていただきます。





4月例会



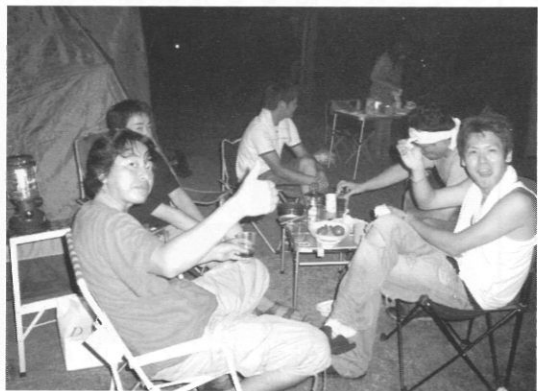
4月定期総会に引き続き、18年度最初の例会となる4月度例会を福井商工会議所ビルにて開催しました。総務委員副委員長の松田君の司会進行により、今年度の各委員会の紹介と豊富を紹介する形の例会でした。各委員会の報告が終わり、今年度の「アントレキッズ」の概要説明。清川君がアントレキッズの意義・必要性・目標を熱弁し、最後には本を出版したいと夢を語っておいりました。

最後に、宇佐美会長からの提案で例会に会員企業のPRの場を設けることになりました。今回は鈴木君(有)パイプ美人)、松井君(中華四川料理 もりた)、宇佐美会長(宇佐美材木)が発表し、自社のPR・セールスポイント・イベント情報などを紹介。今年度最初の例会を閉会しました。(栃谷賢一郎)

5月例会

5月度例会は「今こそ見つめなおそう。己と和をテーマに、福井市にある足羽山のみもと「高照山瑞源寺」にて開催されました。世の中の喧騒から離れ、「禅」を通して己と向き合いながら、自分とは何か、何をすべきなのかを考える、心の改革を目的とする例会でした。座禅をしている間ご住職がけいさく棒(励ましの棒)で叩く行為を過半数の人が体験されていました。私も体験しましたが、

8月例会

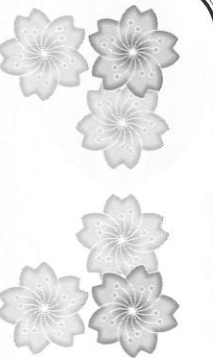
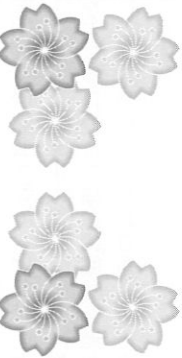


8月度例会は夏のレクリエーション。26日(土)・27日(日)の両日、坂井市三国町の休暇村三国オートキャンプ場にて開催。会員同士ならびに家族同士の交流を深めました。【準備編】1日目(快晴、気温30度)。まず会員、家族が力を合わせてテントの設営。一息ついたところで、普段、家では何もしない(?)男性人が夕飯の支度。大粒の汗を掻きながらの炭おこし、食材を切りカレーライスの準備。みんなの顔が生き生きとしていました。夕日で空がオレンジ色に染まりだしたころに食事が始まり、日常を忘れ自然の中での仲間たちとの飲食は最高でした。(畑下徳洋)

【親睦篇】大量の花火。1,000本はあったのでは?参加者全員が参加し「1人2本まで持っていていいよ!」の掛け声の後、次から次へと花火が始まり、あちらこちらで綺麗な光景が見られました。70名の隙間を縫う花火!まさに、カーニバル状態でした(笑)。いくらやっても無くなる花火。その内、5本、10本と持ち出す本数が増え、「もういい!」と思うぐらいの夏の花火の思い出ができました。

そして夜は大人の語らいの時間。あちらではチーズとワイン派の奥様連合、こちらではラーメンとビール派の親父連合、つまみとお酒の夜通しグループと夜な夜な話が続きました。普段できない会話、普段見せない表情など、まさに福井YEGが家族として一体となっ

福井商工会議所青年部 会長  
宇佐美 嘉 一



18年度は～人と繋がろう!～「Be Enjoy YEG」を共通の目的に掲げ、多くの人との語り合いや交わり合いから生まれた繋がりを活かした事業が多く行われました。新規の事業を生んだだけでなく、既存の事業の更なる発展にも繋がったと信じております。

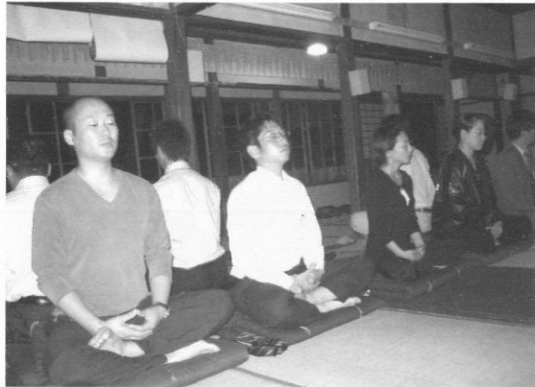
春から「桜ハートランド(風流花回廊めぐり・夜桜会)」「越前時代行列(柴田勝家隊)」「アントレプレスWeb版」「ホノルル日本人商工会議所姉妹提携25周年記念事業」「アントレ・キッズ」「YEG&イッチョライ・オドロッサ」「まちづくり懇話会」「北陸技術交流 テクノフェア2006」「福井学」「考福学塾(まちなか回遊コミュニティバス & Premio Fukui & ライトアップ)」「資質向上例会(禅・コーチング・ヨガ・法律・ディベート)」「新入会員アカデミー」「夏レク&冬レク」、日本YEGと県連事業への参加。この会報福居が発刊後にも「市民の広場」事業がありますが(^\_^)、多くの事業が行われました。

また、2月の全国会長研修会では「アントレ・キッズ」事業がYEG大賞「敢闘賞」を受賞させて頂きました。振り返りますと、年度当初出席率低下を考慮し、事業の整理などを考えていましたが、委員会・会員の皆様の熱い想いと素晴らしい行動が、これだけの事業を成功に導いたと思います。青年としての行動の大事さを感じさせて頂きました。それらの事業活動を通じ、会員皆様だけでなく、関わって頂いた方々にも満足感・達成感・喜びを感じて頂いた事でしょう。少しでもふくいの市民やまちが共に元気になって頂いた事と思います。

今後ますます、様々な団体や市民の方々から青年部に対し期待を寄せられていく事と感じています。それに対し私たち会員が、どのように考え・行動し取り組んで行くのか、考査する大事な局面を迎えつつあると思います。19年度村中会長率いる新青年部丸はこの局面をうまく乗りこなし、青年部の力として育てていく為に会員一丸となつてがんばっていきましょう。

遅くなりましたが、若輩である私を支えて頂きました皆様に、感謝申し上げます。

かなり痛いものでした。(ご住職曰く、軽く叩いているとのこと)最後に、抹茶とわらび餅をご馳走になりながら、人のあり方を教えて頂いた気がして良い体験をさせて頂きました。ありがとうございました。 (岩佐 勝)



6月例会

6月の例会は一般の方も参加してのオープン例会。自分の能力を最大限に引き出し、そして導く「コーチングセミナー」という例会でした。自己紹介とコーチングに関する簡単な説明の後、早速体験プログラム。2人1組になり「0リング」を体験。「0リング」とは1人が片手の2本の指で作った輪をもう一人が左右に開こうと引っ張り、抵抗する指の力が質問内容によってどう変化するかを調べるもの。まるで催眠術にかかったかのように人間は言葉一つで如何様にも



なるのだなと言うことを思い知りました。コーチングは相手がゴールを達成するための自発的行動を促進するコミュニケーションスキルであり、「部下の能力を引き出す」「プロジェクトを成功に導く」「対人関係の円滑化」などコミュニケーションのあらゆる場面で利用できるという事でした。その後も様々な実践を取り入れながら、自分や他人とのコミュニケーションの方法や自己管理、サポートの方法など楽しくコーチングの基礎知識を学ぶことができました。(畑下徳洋)

7月例会

鯖江YEG主管の三単会交流会が例会扱いになり、「縁と絆」自然とのふれあいをテーマに9日(日)鯖江市のラポーゼ河和田にて開催しました。「YEGという縁を活かし同じ目的に向かって協力し、自然とふれあい更なる絆を深める。」を目的としたもので、ネイチャーゲームとバーベキュー懇親会の2部構成になっていました。ネイチャーゲームとは、自然を楽しみながら「発見したり「感動したり」と、自然への理解と感性を得るためのゲーム。大半のチームがすぐにバテバテになりながらも、自然界からお題のものを採り出すという単純で難しいゲームに挑戦していました。

懇親会では豊富な食材を吞んで食べ、仕事の話や家庭の話、それぞれの単会の苦労話など他単会のメンバーと十分に交流できました。主管の鯖江YEGに心より感謝します。ご苦労様でした。(鷺田裕之)





た瞬間でした。  
2日目、子供達の元気な声で叩き起こされた朝は、寝不足も感じないすがすがしい朝でした。みそ汁とご飯をたらふく食べ、楽しいキャンプは終了しました。「スローライフ」今回の夏レクキャンプで心に隙間を作る事ができたひと時でした。(清川卓二)

### 9月例会

「近畿ブロック大会 大和高田大会」が8日(金)〜9日(土)の両日開催しました。9月度例会として総務委員会(木村委員長)が担当し、会員活発委員会(吉岡委員長)の新人会員アカデミーを兼ねて20名で参加しました。

奈良県大和高田市までは、バスで約4時間程の行程。その時間を利用して、会員活発委員会主催の新人会員アカデミーが行われました。参加者全員が自己紹介後、吉岡委員長手作りの資料(絶対必見です。)を見ながら、平成8年から10年間の福井YEGの活動の流れと事業内容を紹介します。「市民会議」「YOSAKOIイッチョライ」「桜の延命・保存」「全国会長研修会」「30周年記念事業」などとても良く分かる内容でした。

10時20分頃に大和高田市に到着し登録受付後、時間があつたので物産展を堪能しました。奈良の食材や工芸品などを楽しみその後、11時から行われた記念式典に参加しました。



し、「近畿の潤い」中小企業のオアシスはどこに〜をテーマに「サンデープロジェクト」にも出演しているフリーランスジャーナリスト財部誠一氏の講演が行われました。「サンデープロジェクト」はよく見ているので楽しみにしていた講演会。「中小企業のオアシスは、ある人にはある、ない人にはない」を切り口に始まった講演会では、トヨタ自動車のビジネスモデルやカルロス・ゴーン氏の経営戦略、成功する経営者の考え方、また、上場企業ばかりでなく、ビジネスモデルを大きく変化した鉄鋼関係の中小企業の話しも例に挙げ、我々が取り組むべきヒントを話していただいたと思います。(菊 祥行)

### 10月例会

10月例会は、ヨガで「こころ」と「からだ」をケアする例会。インド発祥500年の歴史をもつ「ヨガ」にチャレンジしてみました。指導して頂いたのはトゥー・ア・ティーの高田陽子さんです。健康ブームの昨今、雑誌やテレビでも時折取り上げられる「ヨガ」ですが、今回参加したYEGメンバー約20人のほとんどは初めての体験だったのでどうでしょうか？

ゆったりとした雰囲気の中で普段の生活では伸ばさない筋をぎゅーっと伸ばし、腹式呼吸をする。傍目では大した運動とは到底見えない動きをするだけで不思議と体がポカポカしてきて、温泉に入った後の爽快感というのか、体が軽くなったというか、これを続け



ればかなり健康的な体がつくられていくような気が十分しました。(吉田和史)

### 11月例会

11月例会は、資質向上例会委員会が担当。今回は「行列のいらない法律相談所」と題して我々の身近に起こるであろうビジネストラブルについて、各分野で活躍する専門家が的確に答えました。問題は担当委員会である資質向上例会委員会(景山委員長)のメンバーによる寸劇にて出題し、答えを○と×に分かれて参加メンバーが回答、その後、司法書士の中尾亨氏と青年部会員でもある社会保険労務士の松田将裕君、建築士の鷺田裕之君、税理士の松岡茂君を交えた専門家が正解と解説を行うという形式でした。



参加メンバーも難問に苦勞しながら、専門家の解説に耳を傾けていました。見事!全問正解の総務委員会山岸君には記念品が手渡されました。今回の例会を通して、我々の身近に起こるべくビジネストラブルを再認識し、気軽に相談できる環境がある事を知ることができました。(上松悦志)

### 12月例会

会員活発委員会(吉岡委員長)が担当した12月度例会は、冬レクレーションを開催しました。



青年部メンバーにとっては夏と冬の2回開催される家族サービスのまたとないチャンス(?)。青年部活動の一端を知っていただくと同時に家族同士の交流の機会となっております。青年部メンバーで通常の例会を開催後、家族の方々も加わり、宇佐美会長の乾杯の挨拶で12月例会がスタート。美味しい料理をいただきながらジュースの早飲みやバランス感覚・記憶力を試すテール対抗のゲーム、家族紹介などを行い親睦を深めました。

最後に先日行われた定期総会で次年度会長が承認された村中君から「次年度もお父さんお母さん、旦那さんや奥様に活躍していただきたいので皆さんのご協力をお願いします。」とお願いの挨拶があり、冬のレクレーションの幕を閉じました。(菊 祥行)

### 1月例会

24日(水)19:00より1月度例会を福井商工会議所ビルにて開催。今回は議論形態の一つである「ディベート」について学びました。県立金津高等学校教諭で同校ディベート同好会顧問でおられる丹羽俊彦先生を講師にお招きし、ディベートについて見識を深めました。丹羽先生から主に競技ディ



### 2月例会

左義長まつりのお囃子が市中に響く勝山市に於いて24日(土)、県連会員大会勝山大会が開催されました。福井YEGは18名で参加しました。

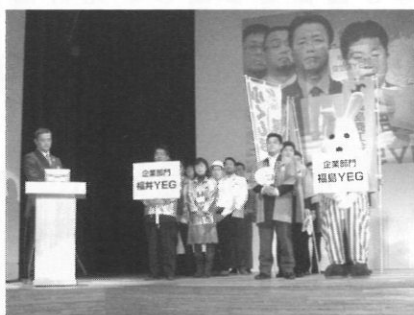


ベートについての説明を受けたのち、メンバーによるシナリオ台本を利用した模擬ディベートを行いました。模擬ディベートは担当委員会が用意した「定年を70歳にする」をテーマにしたモデルシナリオに沿って行われたが、前段の丹羽先生の講演と併せ、かなり内容の濃いものでありディベートに対する興味はかなりわく内容でした。(加藤大祐)

### 第24回全国会長研修会

#### いしかわ加賀会議に参加。

2月16・17日の両日、石川県加賀市に於いて全国会長研修会が開催され青年部から16名で参加しました。全国会長研修会とは会長・次年度会長と将来を担う会長が研修を行う大会で、全国から1,300名の会員が集合。主管を担当した加賀YEGとは数年来、互いの例会を行き来する関係でもあり思い入れの深い大会となりました。16日には日本YEGが主催するYEG大賞(全国399単会が行っている各事業を発表表彰するもの)の発表があり、全国からエントリーされた118事業の中から最終審査まで残った当単会事業の「おしごと探検隊 アントレ・キッズ」が、企業支援部門の敢闘賞を受賞しました。発表が行われたステージ上では参加したメンバーが仕事着に着替え登壇しアピールを実施。惜しくもグランプリこそ逃したものの全国から注目される事業となることでしょう。この受賞を糧に今後も周知活動を行い、会員一丸となり取り組んでいきます。(菊 祥行)



「おしごと探検隊 アントレ・キッズ」敢闘賞受賞おめでとう



「おしごと探検隊 アントレ・キッズ」敢闘賞受賞おめでとう



### 「風流花回廊めぐり」開催!

「桜ハートランド 風流桜探訪」のひとつ「風流花回廊めぐり」(ウォークラリー)が8日(金) 14時~16時の日程で足羽山から足羽河原をコースに開催されました。



主要ポイントを担当委員会の委員メンバーから桜や福井の歴史にまつわる話を聞きながら和やかにみんなで花見って感じでした。目的地の「藤の家 五雲閣」は古き時代を感じさせる立派な建物で、その大広間で行われた福井工業大学の吉田教授による「九十九橋」の歴史に関するお話しと相まって、非常に興味深い内容となりました。

今回のテーマであった「歴史と桜」に関して、福井に住んでいながら、知らない事・知らない名所が多く、今後も私たちが培っていかねばいけない責任感を感じるとともに、歴史や文化の重要性を痛感しました。(鷲田裕之)

### ホノルル日本人商工会議所姉妹提携二十五周年記念事業 歓迎レセプションに参加!

ホノルル日本人商工会議所姉妹提携25周年記念事業の歓迎レセプションが25日(木) 18時より、離世において開催されました。ヤングチェンバーとの交流を希望していると聞いて

いましたが、名簿を見れば会頭や元会頭、副会頭など要職の方々ばかり。言葉の壁に加え、ジュネレーションギャップまであるかも...と少々不安でしたが、私たちのテーブルは、Mr. アンドリュー・ニシダとMr. スコット・ムラカミのとてもお若いお二人。とても和やかに楽しい時間を過ごす事が出来ました。



歓迎レセプションは、江守・キリハラ両会頭挨拶に始まり、西川県知事の英語でのスピーチ、坂川市長のアドリブ満載の挨拶と続きまして。いづれも、通訳が入る為、倍の時間を要し、座っては立っての繰り返しでした。

このレセプションにてすっかり意気投合したYEGメンバー。翌日もホームトゥーホームイブニング(交歓夕食会)があると言うのに、事務局共々、なんと三次会まで繰り出したそうです。(村中洋祐)

### 「北陸技術交流 テクノフェア2006」に出展

19日(木)・20日(金)の両日に福井市産業会館に於いて開催された「北陸技術交流 テクノフェア2006」に福井商工会議所青年部として出展。当青年部ならびに会員企業のPRを行いました。会場では、午前中から駐車場が満車になるほど盛況ぶりで次々と来場者が青年部ブースの出展企業を訪れ、独自の



技術・商品の説明に耳を傾けていました。青年部としては活動内容やメンバーの事業所紹介などを行い、「青年部で出展してるんだね」という声もいただきながらYEGという団体があるという存在感と出展企業が独自の技術を商売に結びつくプレゼンができたのではないかと思います。(岡山宇太郎)

### 考福学塾を開催しました

【青松園編】

「ふくいの歴史と先人に学ぶまちづくり」をテーマとした考福学塾を14日(土)、足羽山に位置する「青松園」にて開催しました。



第1部は福井工業大学教授の吉田純一氏を講師にお招きして「城下町として栄えた福井」に関して話していただきました。数々の福井城に関する昔の資料を研究されCGで復元した福井城を見せていただき、改めて福井城の御殿の広さや天守閣の素晴らしさを再認識するとともに、各遺構が足羽山の麓の瑞源寺に代表されるように様々な場所で見られているという事実を知りました。また貴重な福井の城下町を描いた絵地図を見ながら現在の町名の由来や位置関係などを教えていただきました。昔の城下町は1つの通りを挟んで向かい合っていて家が整然と並び、町が構成されていたそうです。家から出ればすぐに現在では希薄になりがちな挨拶などの自然なコミュニケーションがそこにはありました。参加者からは「今回のこの素晴らしい考福学塾の広報活動が少なかつたのでは?」と厳しい意見も出しましたが、先程の自信と誇りを持つ為にハードの整備も必要だがソフト

### 考福学塾を開催しました

【藤の家 五雲閣編】

「コミュニティを活用したまちづくりに学ぶ」をテーマとした考福学塾を14日(土)、足羽川沿いの「藤の家 五雲閣」にて開催しました。

「藤の家 五雲閣」は明治時代に建てられ、かつて三笠宮様をお迎えするなど知る人ぞ知る格式高い料亭。現在は使用されておらず今年4月に青年部が「夜桜会」を開催して以来の利用で、窓から外を眺めると足羽山と足羽川の桜並木が一望でき、これほどのスポットと



文化・歴史的財産を眠らせておくのは本当に惜しいと感じました。

第1部は青年部OBでもある小川修氏を塾長に招いての講演。小川氏は昭和60年~62年にかけて「市民の広場」で足羽三山の活用を提案し、福井のシンボルとして広く市民に呼びかけました。戦争の壊滅的なダメージの復興として植樹したのではないかとされている桜が、あと10年余りの寿命とのことで、いつまでも足羽山に桜が残ってほしいとの思いから「FUKUI UIさくらネットワーク」を開催。市長・市民と共に足羽三山へ約2,000本の桜の植樹を成功させたそうです。第2部はイッチョライNPOの理事長出田吏市氏を塾長としてお招きし開催されました。

出田氏よりイッチョライの今までの経緯を話していただき、第一回YOSAKOIイッチョライが8チーム550人からスタートしたことや、YOSAKOIイッチョライを始めるまでのフェニックス祭りや青年部の係わりなど、過去の歴史を紐解く形となりました。「まちづくり」も「イッチョライ」も市民が主役。楽しい「まちづくり」をするには市民が主体となった一つの理念を基本としたものに向かって進まなければなりません。NPOが市民の受け皿となつて楽しい「祭りづくり」をすること同様に今回、考福学塾として第一ステップを踏んでの「まちづくり懇話会」がすすめる「まちづくり」とは目的は違えども方法論としては同じであると感じました。(岡山宇太郎)

### 考福学塾開催記念イベント

収穫祭ブースにて「Premio Fukui」を実施。14日(土) 15日(日)の両日開催された「秋の収穫祭」会場ではまちづくり懇話会としてブースを設置。「Premio Fukui」と題して各団体のポスター掲示、「アントレ・キッズ」、市街地の不思議なものを携帯のデジカメで撮影してもらった企画などを行いました。「アントレ・キッズ」では「お菓子の家づくり」を行いました。どこにでも売られているお菓子を使って、

親子で小さい家を作るといった単純な作業。狙いは、誰でも幼い頃に夢見るお菓子で出来た家をヒントに、親子のコミュニケーションを図り、かつ創造性を養い、完成したときの達成感を与えるというもの。作業中に考えながらパリパリお菓子を食べれるのも楽しさのひとつです(笑)。



(鷲田裕之)

### 考福学塾開催記念イベント

【まちなか回遊】コミュニティバスを実施

福井市内を走る「コミュニティバスすまいる」の西ルート(照手・足羽方面)を利用して、14日(土)のお昼から「まちなか回遊コミュニティバス」を実施しました。昼過ぎの便から企画を実施。駅前をスタート地点として、共に乗車した方々





した。地域に根ざした活動とは、こういうことなのかなあ〜と感じました。乗客からは、他の路線でも実施して欲しいなどの意見もいただきました。  
(橋詰英知)

### 「アントレ・キッズ」 in 豊小 学校を主催

11月19日(日)、  
「アントレ・キッズ」  
in 豊小 学校を開催しました。会員企業22社が参加し講師となり、午前中は低学年向け、午後は高学年向けと、それぞれの仕事内容を紹介する授業を行いました。  
(水元一徳)



### 平成18年度を振り返って



プロジェクト調整推進室 室長  
高原 裕 一

(1) 『アントレキッズ』はこれからの事業です。清川リーダーが近畿経済産業省やJOBカフェなどとの連携の橋渡しに奮闘。益々YEGの事業としてのステータスが向上しました。今後は、福井YEGのブランドを発信する最強の事業として、尚一層の事業のブラッシュアップが進むものと思われまます。また、本年2月16日の全国会長研修会加賀会議において、YEG大賞の敢闘賞をいただいたことも今後の活動の励みになりました。

(2) 『福伊キッチン』事業については、2006年10月の秋の収穫祭の開催は見送りとなりました。しかし、それはシエラの皆様を中心に何回も議論したのちの結論であるため、意義ある不参加であると考えています。一方で、シエラの皆様方も「独自のものを…」という意欲が高まっており、19年度は、新たな第一歩が踏みそうな気運です。

(3) 『日本一の桜のトンネルを後世に残す』という青年部及びOB、さらには、会議所観光部会の統一見解を見出して望んだ、『福井豪雨激特災害事業における、足羽川堤防の保全事業』のデザインと、市民との連携づくりをテーマに、平成17年より取り組んできた事業でしたが、地域の住民とのコンセンサスを見出すことなく、また、一部地域の方々からは、『桜堤をそのままに手をつけないで』という署名運動が18年度に広がったため、当青年部としても動くに動けない18年度でした。しかし、激特事業は19年度で何らかの結論を出さなければならぬ時期に来ており、青年部に対して地域力を発揚する活動が求められるものと思われまます。

以上のように、プロジェクト調整推進室はその名の通り「調整できたか?」というと、まだまだな感はあります。



総務委員会 委員長  
木村 幸生

しかし、いずれも今後のYEGブランドを地域に発信するためには、重要なテーマですので、ヤングなメンバーで、これらをさらに調整、推進していただきたいと只々願うばかりです。

卒業年度の年に総務委員長として華々しく去っていかうなんて気持ちは全くなしに、請け負わせていただいた総務委員会。担当副会長はじめ、優秀な副委員長や委員の方々に助けられたお陰で無事一年を終えようとしている今日この頃である。今年度から手帳の作成が次年度総務委員会の担当になった事から、新スタート前からの委員会の開始や4月例会の大どんでん返しで楽しい船出となった。全国大会は出席できなかったが近畿ブロック大会、三単会交流会、会員大会と出席者の確保にはちよと大変だったかと思う。でも何が大変だと言ったら、やはり出欠返信の少なさだった。総会返信率50%例会30%役員会80%ざっとこんな数字だったかと思う。返事のないのはい知らせという言葉があるが(ちよと、ちよとちよと?) 幹事役にとって返事の無いほど困る事はない。返信がないのなら返信欄は無用なのである。やはり社会人として、はっきり意思表示をしていただきたいとつくづく思った一年であった。ここである会員の返信の方法を述べて最後にしよう。「案内をもらったらその場ですぐに出欠の返信をする。変更になったら再度返信すればいい。これで迷惑はかからない。欠席であろうがかまわないのである。」



ブランド発信委員会 委員長  
岡山 宇太郎

今期一年、活動して来ましたが道のりは非常にきびし

### 福井YEGの年間事業の様子は「アントレプレスweb版」で!

<http://www.fcci.or.jp/fyeg/entrepres>



いものでした。「一体感ある委員会づくり」を念頭に委員会メンバーの素直な思いを様々な関係の中から達成させる・断ることの難しさ、委員長としての信用の維持、受けたことに対する責任、他の委員会の行事との係わり合い、など次々と問題が発生し気がつけば「あ〜」という言葉に任期が終了したようです。

一年を振り返りてみまして特に印象深い事業は「テクノフェアへの参加」でした。参加することの意義について役員会で説明することに苦心しましたが、商売に繋がる事業として技術系の企業に青年部に入会したメリットを感じていただきたこと、若手経営者が集う団体として福井YEGが存在することを3社協働ブースを通して来場者へPRしたいことを訴えまして何とか承認いただきました。承認はされたものの開催までの道のりは厳しく、出展企業の発掘、開催までの書類提出、ブースの間取りの打合せ、開催期間のPR方法、青年部事務局の高見さん、水野君との調整：頭の中はテクノフェアのことで一杯でした。私は会期2日間、ブース管理者として現場に張り付いていましたが委員会メンバーと事務局との合作でありますブースの素晴らしい仕上がり、忙しいなか青年部メンバーが駆けつけてくれたこと、予想以上に来場者が青年部3社合同ブースへ来て商品説明を聞いていただけましたこと、やっぱり良かったと思える瞬間が沢山ありました。

自身に委員長として「一体感をもてたか?」と問いますと答えは「NO」ですが、アントレキッズ・YOSAKOIイッチョライ・まちづくり懇話会に主体的に参加させていただいたことで様々な体験ができたことは今後の貴重な財産となりました。

今期一年、皆様のお陰で無事任期を終えることができましたこと、深く感謝申し上げます。



会員活発委員会 委員長  
吉岡 正修

私自身、YEG最終年度、幽霊会員になって卒業を迎えるような気がしたので、思い切って委員長を受けさせ



資質向上例会委員会 委員長  
景山 直恵

ていただきました。会員活発委員会は、イベントを通じて、会員間の交流を深め、また、新入会員勧誘、フォローアップを請け負った委員会です。とは言うものの、前回委員長を受けたのは、20世紀のことでありまして、実に8年ぶりです。当時総務委員長でしたが、21名の委員の中で現在在籍しているのは現・宇佐美会長と現・竹下副会長だけです。前回は、無我夢中で取り組みましたが、今年度はどうなったのやら。

夏のキャンプは三国のオートキャンプ場です。なるべくシンプル準備、企画に徹しました。そもそも、蓮花さんから、キャンプは、日頃の疲れを自然の中で解きほぐすもので、忙しいから、大変だからといって参加を見合わせる人が出るのをおかしいと、例会の二次会で言われたので、即納得、実行した次第です。キャンプファイアーや肝試しはなかったけれど、参加者の協力で、おいしい食事にありつけたし、お酒も入って楽しい夜は更けていきました。

冬のクリスマス例会は、シンプルだけど、雰囲気こだわりました。予算は毎年少なくなり豪華絢爛とはいきませんが、落ち着いたなか、ほのぼのとした会話が飛び交う、家族の笑顔がみれる、そんなイメージでした。服装も、おしゃべり自由ですが、身だしなみは不可欠ということに上着着用をさせていただきました。

まだ、事業が若干残ってますが、委員会のメンバーをはじめ、会員の協力により何とかこまごまやってこれたことに感謝いたします。シンプル・イズ・ベスト。(手抜きの手抜きで手抜きでない) ありがとうございます。

資質向上例会委員会：固いイメージの委員会ですが、昨年の5月に始まり今年の3月まで、年間6回の例会を企画・運営させていただきました。名前は固い委員会でも、委員会メンバーはとても柔軟で、村中担当副会長の体型からじみでる懐の広さと温かい擁護もあって、座禪、コーチング、ヨガ、行列のいらぬ法律相談所、と、前例



ふくい創造委員会 委員長  
前田 裕之

今年度、9年ぶりに委員長をさせていただいたわけですが、この間にずいぶん青年部も変わりました。事業の数が二、三倍になったかなあ、以前はのんびりしていたなあ〜というのが実感です。昔を懐かしむのは歳のせいですが(笑)

そういうわけで、当委員会でも毎月一回の「まちづくり懇話会」の開催、『桜ハートランド』(4月7日〜9日)、『考福学塾』(10月14日)、および『市民の広場フォーラム』(3月10日)の事業を担当しました。

事業に追われ本当に大変でしたが、それ以上に青年部内外でも多くの人と交流を持つことができ、実に充実した一年でした。

最後になりましたが、卒業間近のこの年に委員長をさせていただくことができ、青年部の皆様には大変感謝しております。どうもありがとうございます。



市民連携交流委員会 委員長  
橋詰 英知

毎度、お世話になっております。



平成19年度 福井商工会議所青年部 組織図



「ハスマイルバスの件」  
福井商工会議所青年部ではまちづくり懇話会ネットワークを介して開催した「考福学塾」に併せて、もっと身近なところを地域の人が誇りを持って発信していけるような手段がないかを検討していきました。それには先ず、地域住民と我々が一緒になってこの地域を考えることのできる場を創出し、身近な歴史・文化をよく理解し発信していければ、よりよいまちづくり、地域コミュニティにつながるのではないかと考えました。そこで今回、まちづくり懇話会の機軸ともいえる『中心市街地（駅周辺）（足羽川・足羽山）』を重点的に走る「コミュニティバス西ルート」に焦点を当て、このバスの乗客者達に私たちが直接語りかけることによって、相互のコミュニケーションを図るとともに、地域の掘り起こしをしていきたいと考えこの事業に至りました。

△裏話▽  
単なる、『中心市街地（駅周辺）（足羽川・足羽山）』の観光が出来るバス（ガイド付）を走らせたい。はとバスをイメージしてました。  
考えたら、スマイルバス（西ルート）がある事に気づき、ガイドも青年部でヤッチャえ〜何て思いガイドじゃなく無く語り部で〜（笑）  
コミュニティバスだから、コミュニティも繋がるのでは（笑）簡単な気持ちでした。ハハハ（大笑）  
まちづくり福井に何回も足を運び、内容を説明し、許可をとりました。車内広告にも納得して頂きました。

車内広告の取材は、西ルートを歩き写真を撮り色々勉強したので…バス古事記になったかも。ハハハ（笑）

【平成19年度 福井YEGスローガン】

「和魂福彩～わこんふくさい～」

和の心を大切にし、福井のまちの彩り・活気の源となろう！

平成11年に入会し、8年が経とうとしております。その間、数々の事業に参加させていただきましたが、その時には、必ず心強いリーダーがいました。しかし、平成19年度は私がそのリーダー、会長を拝命する事となりました。重責を一層感じると共に、19年度に向けての期待も大きく膨らんでおります。

さて、平成19年度スローガンの4文字の中で、特に思いを感じているのは「和」です。「和」とは日本の魂である事に及ばず、「なごむ」「やわらげる」という意もあります。YEG活動の目的は、会員の皆様それぞれかもしれませんが、YEGの精神を考えれば、福井のまちにとって必要な事。自らの企業経営にとって大切な事。私たち個人がより魅力的に成長する事です。「和む」＝相手を思いやる心を大切に、苦勞も喜びも分かちあえる仲間、生涯を通しての宝を獲得してまいりましょう。

しかし「和む」と言っても、遠慮は禁物です。相手の心を図り知った上で、対峙する時には、お互いが納得できるまで、課題、問題を忌憚無く交わして頂きたい。その上で互いに理解できる「和み」を目指してまいりましょう。

「和の魂を持って、『まち』『商い』『人』の彩の源になる」

一人ひとりが本気で動く事で自らが輝きます。一人ひとりの本気が集まって、大きな輝きとなり、地域が変わっていきます。それが、新しい「ふくい」と新しい「自分」を作ります。

私自身、微力ではありますが全身全霊を傾けて会長職を全うする覚悟しております。YEGメンバー諸兄の絶大なご協力、ご支援を賜ります様心からお願い申し上げます。

平成19年度会長 村中 洋祐

総務委員会



委員長 山岸 範之

「扇の要」

青年部きっての不良会員の私が平成19年度総務委員長という大役を仰せつかることとなった。村中会長も度胸があるなあと思った。経験も浅く、不安一杯だが、引き受けた以上は精一杯やりたいと思う。地味な仕事だが総務は扇の要。阪神の矢野みたくで格好いいやん、

ひとの和委員会



委員長 橋詰 英知

次年度も委員長2年連続？まじで…（笑）  
次年度は、「和魂福彩」ですので、YEG魂を持って色々な事業に取り組みたいです。会員メンバーが楽しく、仲良く事業が出来たらと思っています。本年も宜しくお願い致します。

商いの和委員会



委員長 松井 良平

「2度目の委員長です。1度目のときより余裕を持って、そして何より楽しみたいと思います。初めての分野で多少戸惑いと不安はありますがいろいろな新しいことにチャレンジしたいと思っています。  
青年部は商売人の集まりです、YEGの中にはいろんな可能性があると思います。その可能性をこの委員会に形にしていきたいなと思っています「儲けますよ！」



会員の和委員会



委員長 五十嵐 嘉紀

今年1年、新入会員様のお世話をさせて頂くことになりました。平成19年度生の学級委員として同期生としての団結を一番とすべく、頑張っていきたいと思うのでよろしく願います。

ふくいの和委員会



委員長 藤井 紀光

委員長を受けるにあたって「まちづくり」とはなんだろうと考えました。今はまだ答えが見えません。今はこう考えています。「まちづくりとは社会の未来を創る事」「自分の未来はみんなの未来に彩られる事」「社会を無くして自分は成り立たず」みんなの未来を良くすることで、自分の未来も良くしたい。ただただ、前を向いて進みます。

情報の和委員会



委員長 松岡 茂

せっかくYEGに入会したのなら、参加しなくちゃもったいない。すべての会員に情報が行き渡り、一人でも多くの方がYEG活動に参加していただけるようご支援していきたいと思えます。

新入会員紹介



井沢 裕之

勤務先 (株)井ザワ画房

自PR

「福井市で絵画材料・額縁・美術教材・各種絵画教室の運営を行っております(株)井ザワ画房の井沢裕之です。この度ご縁ありまして福井YEGに入会させて頂きました。このような原稿を書いたり、ご挨拶をさせて頂くとどうしても堅くなってしまふ性分なのですが、会員の皆さんと一緒に楽しみながら福井の街が活性化するようにお手伝い出来ればと思います。そして自分自身も福井YEGでの活動を通して柔軟な発想で物事を考え行動することが出来るように成長したいと思えます。ちなみに飲むこと食べることは大好きですがその点も含めてよろしくご指導頂きますよう御願致します。(やはり全然堅いですね。)」



今井 順也

勤務先

今井労務経営事務所

自PR

仕事では、賃金・退職金制度の見直し、助成金、就



川嶋 慶一

勤務先

(株)スタジオ日放

自PR

入部？一年目の川嶋です。仕事の都合上、なかなか活動に参加できませんが、熱い思いを持って行動する諸先輩を見習いつつ、不死鳥福井市の活気や魅力を創出すべく頑張っていきたいと考えています。皆さんよろしく願います。



岸本 潔武

勤務先

(株)キシント商会

自PR

福井へ久しぶりに帰ってきました。十数年ぶりの変化の多い福井での驚きのひとつに「イチチョライ」がありました。

こんなに福井って活気があったっけ？(僕の記憶では駅前のペンタ祭りまで)と本当に驚き、さらに運営に当初YEGが携わっていたというところで、こんなに大きいものを動かしていたんだと、すごく感動しました。周りを革新させていける喜びと熱い思いを、先輩達が教えてくれ、何事に対しても一生懸命な姿を見て、入会してよかったです。私も活動を通して福井・北陸・社会の役に立ち、また自身の仕事も充実した日々を暮らせるよう、YEGで活躍していきたいです。スキー・バイク・ゴルフ・オーストラリアの大好き

業規則などに力を入れております。まだ若い？ので今年には新たな資格にチャレンジし、より顧客満足度の高い業務ができるよう取り組んでまいります。皆さんよろしく願います。

変な特技

私は物心ついた頃から何故か逆さ言葉が得意で、短い文章などは瞬時に逆さから読むことができます。大学時代に素人が特技を披露する関西のTV番組に出演したところ、見事優勝し、ベトナム旅行をペアでプレゼントされたことがこの特技が役に立った唯一の自慢です。どうでもいい特技ですが声をかけていただければやってみせます。

趣味・特技

バイク



今井 陽平

勤務先

(有)巨勢

自PR

出身は関西ですが、これからの福井の為にがんばります。『薪ストーブ』会社でインターネットを通して全国に薪を販売しているのもあって、僕もこの冬薪ストーブを導入しました。これがほんとに心地よい！ふんわりとやさしい暖かさに、堅木の良い香り。暖のある所には自然と人が集まってきました。ハイテクばかりが求められる世の中ではありますが、



工藤 紀昌

勤務先

(株)トウカイフクイ

自PR

工藤紀昌と申します。株式会社トウカイフクイの営業課長をしております。私の会社は繊維加工品の染料・薬品及びホームクリーニング・リネンサプライの洗剤・助剤の卸売りをしております。会社は高木中央に御座いますのでお気軽にお立ち寄り下さいませ。



佐々木 俊一

勤務先

(株)クリーニング白洋舎

業務内容

ホームクリーニング、産業クリーニング、リネン、飲食・医療用ユニフォームの販売・リース等、クリーニング全般を行っております。衣類をきれいに、気持ちも爽やかに、今日も元気に営業しております。

趣味

バイク

「気持ちだけ大陸横断。ちんたら走ってます。自転車 時には激しく、基本はゆったり。ロードバイクでのんびり走ってます。

特技

一人でリュックをかついでどこへでも行くこと。突然いなくなり、ひょっこり帰ってきます。



宇野 雅博

勤務先 (株)エムトリップコーポレーション

自PR

昔、家の本棚にあった「何でも見てやろう」という本を読んだ時から世界は何て広いんだ、こんな世界があったのかと、強い影響を受けて、気持ちを押しさえきれずに、19才の夏休み、本の通りに、一人で旅立ちました。その時は旅行会社をするなんて夢にも思っていなかったのですが...

その時のさまざまな体験が今、仕事に大役立っています。

又、食べる事や、おいしい店、おいしい食材探しも大好きです。食関係の本を読むのも大好きなので部屋の本棚5つ全部食関係で2階が落ちそうです。(笑)

ホームパーティーがあったら声をかけて下さい。素人料理ですが出張料理致します。(笑)

趣味

秘湯めぐり、カメラ





谷崎 由美子

勤務先

(株)KASS ファームベルシェ代表

自UPDR

体はちっちゃいですが、パワフル精神で頑張っています。今年の私のテーマは「愛と情熱に溢れる女になる！」です。

穏やかで、強かな女性経営者を夢みております!!

小見出し：ファームベルシェへの思い

「女性に役立つ媒体を作る」これが私共が求めている誌面作りです。

そして女性に役立つ情報はもちろん、心が癒される記事などを取り入れることで読者の方に「潤い」を循環できたらと思っております。

私達スタッフも女性ばかり。テンション高い社員たちなので私はいつも彼女達からパワーを頂いています。

「自らがゆとりを持てる女になる。だから人に優しくも、向き合える。」これがファーム社員の法則です。時々葛藤することもあります、この想いを大切に活かして媒体作り私達は燃えてゆきたいと思っております!!



土岡 正邦

勤務先

(株)アット福井

自UPDR

昨年5月から青年部に入会しましたが、システム準備等ではばたきとしており、イベント行事などに参加出

の新聞にも、ある産油国は「原油が枯渇したときに備え、世界最大級のカジノを建設中!」と、いう記事が掲載されてきました。真剣に身の振り方を考えなければなりません。...

ところで、私は自動車も持っていません。これから持つつもりありません。通勤・YEG事業への参加は専ら自転車です。したがって、YEG事業への参加は天候や距離の影響をもろに受けますので、ご配慮をお願いいたします。とにかく、地球に負担のかからない「ゆるい生活」をしていきたいと考えています。

自分に課せられたノルマは、年50回の釣行と庭の土いじりです。釣りは魚を釣り上げるのが目的ではなく、孤独を味わうのが目的です。仲間と騒ぐのも確かに楽しいですが、海や川を一日中眺めながら、深い孤独を味わうのも実はストレス解消?になります。土いじりも休日の朝から晩までやるので、我が家の猫の顔ほどの庭には雑草は生えていません。趣味は洗濯で、夫婦喧嘩原因ナンバーワンは「お前、勝手に洗濯したな!俺が洗濯したかったのに!」です。まあこれからも「変人チックな人生」(友人談)を歩んで生きたいと思っています。



堀 鈴子

勤務先

(株)トゥー・アー・ティ

自UPDR

(株)トゥー・アー・ティは、今年4月で創立15周年を迎えます。当社は人々の生活の質向上(QOL)の為にウエルネス&カルチャーをおして人々の生活をサポートする仕事を行っています。ベビーからシニアまでお客様が心身ともに健康で過ごせるよう運動や体操を通してお手伝いしています。

昨年11月から青年部に参加させて頂く中、色々な気がありました。さらに青年部の活動を通して、幅

来ず皆様にご迷惑お掛けした事をお借りしてお詫言申し上げます。現在は、営業活動に駆け巡る毎日です。営業内容と致しましては、福井の最新情報を大型スクリーン・サイトでのPRを低コストで実現する戦略。こうした伝え方を理念に抱き、皆様に可愛がって頂けるよう頑張っていますので宜しくお願い致します。



徳本 健朗

勤務先

新成測量設計(株)

自UPDR

「十年一昔」

年末の大掃除の時に会社の机の整理をしていたころ、懐かしいファイルが出てきました。題名は「業務計画書(案)1996年度」。ちょうど丸々10年前の1996年4月、福井に戻り現在の会社に入社した時に作成したものです。内容を見ると、「業務の受注方針」「対応可能物件と外注業務」「設計プログラム整備方針」：おお、30歳の若造が書いたにしては意外としっかりしているなと自画自賛しながら読んでいくと、「業務の電子化について」というちょっと香ばしいページが目にとまりました。中身はその当時想定した今後の電子化への対応方法などでしたが、ネットやパソコンがこんなに進化するとは思っていません。...

現在では情報収集にネットは当たり前、携帯電話でもメールや動画が使える、更には電子マネーの子機として使えるなど、生活の中に「IT」がすっかり浸透している状況ですが、そういえば、当時の我が測量設計業界では、まだ事務所内に製図台が何台もあり、紙の図面や資料が山のようにあって、図面は手書き、計算は電卓といった具合でありました。もちろん、その後数年ほどでパソコンが製図台に取って代わり、机の上はパソコンと若干の資料だけ、今では図面も書類もパ

広い経験を得たいと考えております。未熟ではございますが、よろしくお願いたします。

趣味・特技  
音楽鑑賞 読書



森 下峰 雪

勤務先

(株)石本石材

自UPDR

石材を販売していますが、その中でもお墓を主に販売・施工しております。

最近、自分が死んだときのことを考えてお墓を建てる人が増えています。しかし、本来お墓は家族や先祖を供養する為に建てるのが目的です。

親が先祖供養をする姿を見て子供は先祖・親を大切にします。それが家の繁栄に繋がる。私たちは、石を通して各家の繁栄に貢献いたします。

日記...

ブログが流行しはじめて1・2年でしょうか。ブログが世間に広まる前に、3年日記というものをつけていた時期があり、先日それを読み返してみました。今以上に未熟な自分を感じたり、過去の迷いがちっぽけな迷いだったことに気づいたり、なかなかおもしろいものでした。

しかし、3年日記は8ヶ月から先が未記入であり継続できていないことを反省させられました。初志貫徹... YEG活動では、今の気持ち・やる気を継続していきたいと思えます。

ソコンで作った報告書はCDのみといった状態になっています。また、現場での測量機械も進化し、カーナビと同じGPS(衛星)を使って位置や高さを測量したり、GISと違って、デジタルの地図に情報を入れ、グーグルアースのようなデータベースを作るといったことも進んできています。



富沢 哲也

勤務先

(株)福井新聞PRセンター

自UPDR

今回入会させて頂いた皆さま、福井新聞PRセンターの富沢です。福井の活性化のために、同志の皆様とともに、時には真剣に・時には楽しく活動できたらと思います。これから、よろしくお願致します。



中野 昌宏

勤務先

中野石油(株)

自UPDR

地球温暖化の一翼を担い、何かと肩身の狭い私どもは、原油価格の高騰・暖冬・ハイブリッド車の販売台数の増加等、かつてない逆風の中にあります。先日



城戸 利枝

勤務先

北陸旅行(株)

自UPDR

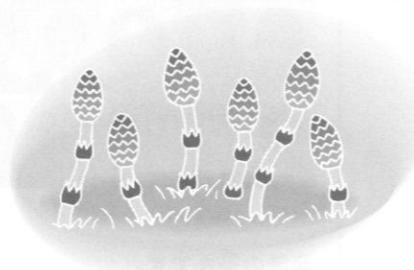


細江 能史

勤務先

(株)ネットシステム

自UPDR





# BABY



男の子  
慧悟(ケイゴ)ちゃん

平成18年1月7日生まれ  
私A型、嫁B型、長男O型…ばらばらな家族です>> ;

◆ 藤井紀光会員 ◆

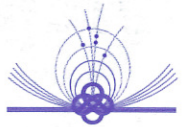


女の子  
菜奈(カンナ)ちゃん

平成18年4月24日生まれ  
我が家に新しい家族ができました。名前は、菜奈(カンナ)です。これから家族4人共々宜しく願います。

◆ 河上剛志会員 ◆

# 寿



## 加藤大祐

福井での2次会には、青年部関連の方を中心に多くの皆様方が参加いただきました。誠にありがとうございました。

東京での挙式・披露宴とあわせ本当に忘れられない時間になりました。

今年も転勤する事なく、また1年福井に居れる事になりました♪時間の許す限り、第一のふるさと“ふくい”での生活を楽しまたいと思いますので今後とも二人揃って宜しくお願いします。



### 会員短信

ブランド発信委員会の上松です。

今年度はブランド発信ということに関して弊社からの報告をひとつお知らせしたいと思えます。

例年、十二月上旬に開催される、繊維関係の展示会が東京で開かれます。その名もジャパンプクリエーション。日本中、世界中からその展示会に集まってきました。弊社からも顧客を通じていくつかの製品(生地を加工したものなど)を出展しました。それとは別に、デザイナー志望の社員二人が製品(こちらは洋服)をデザインして出品しました。生地からデザイン、縫製まで自分たちでこなし、夜遅くまでがんばっていました。その甲斐あってか、ひとりは一人も入賞と、嬉しいかぎりでした。

世の中不況不況と言われていますが、染色業界はまさにそれです。生き残りをかけて皆必死で頑張っています。福井の繊維王国としてのブランドの情報発信に少しでも関わることが出来る光栄に思います。そして、このような社員にめぐまれ、とても嬉しく思います。私自身も負けないようにしなければと思う今日この頃なのです。



### 西木田通信



表紙の答えです。  
面影のある人、別人のようになってしまった人、いろいろですねえ～。

私にとって本年度の青年部事業で一番思い出深かったことは「アントレ・キッズ」でした。この事業の素晴らしさは、青年部会員が本業をもって社会に貢献していることだと思えます。

先日の会長研で田坂広志先生の講演がありました。氏は、世界的なCSRの潮流の中で多くの企業が法令遵守や企業倫理の問題に取り組んでいるが、企業の社会的責任とは、「社会に対して悪しきことをしない」ということではなく、真の意義は「社会に対して良きことを為す」ことであると話されていました。さらに、「企業の社会的責任」とは、すなわち「社会貢献」であり、それは「利益の一部を使って社会貢献事業を行うこと」ではなく、「まず本業をもって社会貢献をする」ことである。企業人はこのことを大切にせよと強調されていました。一言で言えば「世のため、人のため」の精神を指しているのでしょう。

青年部が手がけた「アントレ・キッズ」にもその精神が当てはまると思えますし、いわばCSRを実践しているともいえるでしょう。この事業はぜひその理念を高く掲げ次年度以降も継続発展を期待したいと思えます。

(事務局 高見和宏)